



SUBARU

**富士重工業株式会社
第82期定時株主総会**



対処すべき課題



対処すべき課題

自動車産業

グローバルな規模では成長産業

より「安全」かつ「地球環境」に配慮した
技術革新・商品化への要請が急速に高まる



国内・海外を問わず激しい競争



対処すべき課題

5カ年中期経営計画 “Motion-V（モーションファイブ）”

スバルならではの「安心と愉しさ」を
追求した付加価値の高い商品を提供



順調に推移



対処すべき課題

行動指針

Confidence in Motion～信頼と革新～

商品・ブランド力の向上
付加価値の高い製品・サービスの提供

開発・生産・物流・販売に関わる
全ての体制の強化



対処すべき課題

- 1.生産能力の増強
- 2.規模の拡大
- 3.スバルらしさを追求した商品の拡充
- 4.事業基盤の強化
- 5.トヨタグループとのアライアンス
- 6.CSR活動



対処すべき課題

1. 生産能力の増強

群馬製作所

SIA (スバル オブ インディアナ オートモーティブ インク)

段階的に生産能力を増強

現在の中期経営計画の次のステップとして

SIA

既存の生産ラインを活用した更なる能力増強

平成28年中の新たな車種の生産開始を目指す



対処すべき課題

2. 規模の拡大

米国・中国で更なる販売体制の強化



平成25年度の世界販売台数
年間75万2千台を計画



対処すべき課題

3. スバルらしさを追求した商品の拡充

電動化時代のスバルらしさを追求したモデル

当社初となる
水平対向エンジンのハイブリッド車発売



今後もスバルならではの強みを
磨いた商品を拡充



対処すべき課題

4. 事業基盤の強化

- お客様視点に立った品質の維持・向上
- お取引先各位との関係・連携を更に強化した原価低減活動



事業基盤の強化



対処すべき課題

5. トヨタグループとのアライアンス

トヨタ自動車株式会社および
ダイハツ工業株式会社と良好な協力関係維持



商品ラインナップ強化へ向けた取り組み



アライアンス効果の最大化



対処すべき課題

6. CSR活動

- 環境性能、安全性能に優れた商品の開発と市場投入
- 自主的な環境保全活動の推進



社会発展に貢献

企業価値の向上



今年度の業績の見通し

自動車世界販売台数

75万2千台 (過去最高)

連結売上高

2兆500億円 (過去最高)

連結営業利益

1,800億円 (過去最高)

※想定為替レート：90円/\$ 120円/€

株主の皆様への配当

年間20円 (予定)



SUBARU

富士重工業株式会社
創立60周年



SUBARU

**富士重工業株式会社
第82期定時株主総会**